



学びをつくる・学びを変える

学校では子供達の「学びの機会」をより価値あるものにするために、日々試行錯誤しながら授業づくりに取り組んでいます。今回は、教員の授業づくりの様子や ICT を活用した学びの変化についてお知らせします。

●4年生 社会科「水はどこから」(4年2組 研究授業 9月25日)

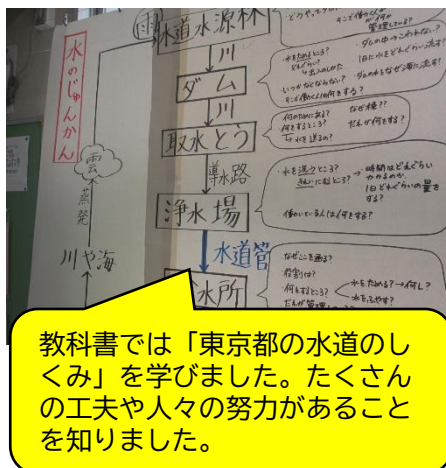
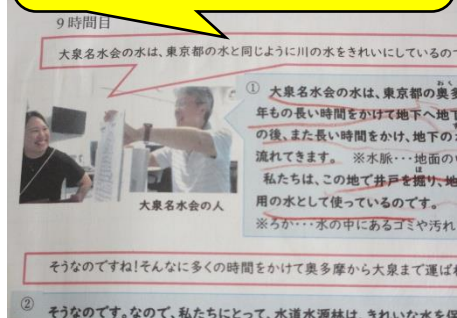
4年生の社会科では、東京都の水道の仕組みを学びます。今回は松田教諭が4年生全クラスの社会科の授業を担当し、2組で研究授業を行いました。

授業を始めるにあたり、学年の先生方は資料を徹底的に集め、練馬区の水道の実態についても調べました。そこで大泉地域で活用されている水道の仕組みがあることを発見し、授業で扱うことにしました。教科書の内容だけではなく、子供達が暮らす地域の資源に触れることは、学んだことを「他人事」ではなく「自分事」としてとらえるための大切な手だてです。

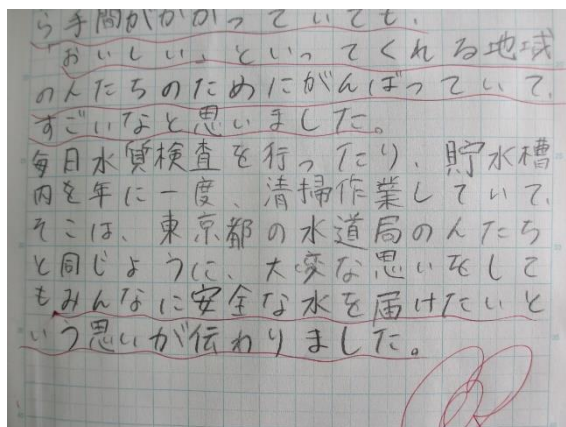
小学校の社会科では、生活に関わる人やものの仕組みを知るとともに、その思いに触れることで実感をともなった学びにすることを目指しています。



先生方は夏休みに取材に行きました。それを基にした手作りの資料で学習を進めました。



東京都のしくみと大泉のしくみの相違点を話し合いました。



子供達は東京都の水道施設と大泉地区の施設を比較しました。その共通点から、普段当たり前のように使っている水道が、たくさんの時間と手間をかけて自分達のところに届いていることを学びました。そしてその背景には多くの人がかかわり、それぞれの思いをもって仕事をしていることにも気づくことが出来ました。子供達の感想の中には従事している方への感謝の気持ちや水を大切にしようとする思いをみる事ができました。

今回の学習で学んだことが、今後「ごみの処理」や「伝統の継承」の学習などに繋がっていきます。

子供達が将来大人になり、自分で生活をしていくようになったための、社会を支える仕組みについての理解を深めていってほしいと願っています。

● 5 年 生 音 楽 科 タ ブ レ ッ ト で 作 曲



5年生の音楽では「和音にあった旋律作り」に挑戦しました。児童用タブレットを使ったデジタルでの作曲です。

楽器や譜面を使わなくても、画面上で音を選び、音の長さや休符なども決めて4小節のメロディを完成させることができるソフトを活用しました。

子供たちはすぐに夢中になって作曲に取り組みました。ひとりで集中して考える子、ペアやグループになって友達と相談しながら進める子など、様々な姿がみられました。

この学習の良さはなんといっても即時性です。考えたメロディをすぐに再生して聴くことができます。聴きながら「この音はいらないかな」「この音をもっと長く」「1音下げよう」など、試行錯誤できることが真剣な曲作りにつながりました。

ひとりで取り組む子は、自分なりのこだわりを追求することになるし、協働作業の子たちはお互いの意図を伝え、相手の意をくみながら進めていくことができます。どちらも考えを深め根拠をもとに学んでいました。

仕上がった曲はとても素敵なものばかりでした。よいメロディにしようという思いが伝わりました。

一人1台のタブレットが配布され、子供たちの学びは変わっています。

この学習経験が他の活動にも広がり、子供の創造力や探求力、対話力など様々な力を伸ばしていくことにつながってほしいと思います。

体育発表会に向けて
頑張ってます！

本番まであと1週間。練習もクライマックスです！



1 年 生



2 年 生



3 年 生



4 年 生



5 年 生



6 年 生